

「はじめの一步案 Ver. 2 (条例の骨組み案)」

【これまでの成果・積み重ね】

まちづくりのキーワード (第7回までの成果)

1. まちのことを知る、「古賀学」
2. 多様な人のつながり、交流、「組愛」
3. 安全と安心、助け合い・思いやり
4. まちの活気、産業
5. まちづくり、自由に色々企画できる雰囲気
6. 住んで良かったといえるまち、住みたいまち
7. 次世代にバトンタッチできるまち

↓ 市民対話のきっかけ

サマーミーティングの成果 (意見の例)

【活かしたいよいところ ⇔ 解決したい困りごと】

- ・自然が豊か ⇔ 中心部に活気がない
- ・幹線交通が便利で充実⇔市内の交通が不便
- ・都市や便利な町に近い⇔周りとは遅れている
- ・良い地域コミュニティ⇔引き継ぐ人が少ない
- ・経験ある人材が豊富 ⇔ 少子高齢化が進んでいる

【様々な意見や提案】

- ・校区、自治会、区長、それぞれの役割がある
- ・現役世代が活躍できる仕組みを
- ・ハブ(幹) & スポーク(枝) (まちの構造として)
- ・内なる分権 (地域のことは地域で)
- ・条例について市民・市職員・議員で議論したい

【サマーミーティング自体の成果】

- ・新しい市民参加・共働の形…市民同士の対話の場

ポイント

※市民意見等の条例案への成果の反映では、意見の内容がそのまま条文案に活かせるものと、具体的な政策の問題など、直接内容には触れないが、仕組みのヒントとすることで間接的に活かせるものがある。



おもに自治の基本的考え方として活かす



自治の考え方・仕組み・ルールなどに置き換えて活かす

【これまでの成果を活かすための骨組み案 (構成と項目の案)】

前文 ※つくるか?から検討
古賀市が安心して暮らせ、活力ある「住んで良かった」といえるまちでありつづけられるよう制定する など、制定の経緯や想いを表現

目的
古賀市の自治 (まちづくり) をより良く進めるための基本的な考え方、実現するための仕組み、関係する主体の役割などを定めること など、なぜ自治基本条例が必要なのかを表現

古賀市の自治 (まちづくり) をより良く進めるための基本的な考え方

作業2 「まちづくりのキーワード」やサマーミーティングの意見・気づきをもとに、『古賀市の自治はこういう基本に立って進める』という考え方を書き出す

古賀市に関する主体の役割・位置付けなど

- 市民等・・・在住者 (住民)、在勤者、在学者、活動している者など
- 議会・・・議員
- 行政・・・市長、市職員

古賀市の自治 (まちづくり) をより良く進めるための仕組み・ルール

作業3 主にサマーミーティングでの意見や皆さんの気づきをもとに、『古賀市の自治 (まちづくり) は、こうすればもっと良く進められる』ようにしていくための仕組みやルールにつながる“素材”を、キーワード (単語) やキーフレーズ (短文) の形で書き出し、整理する

目指す姿 (自治のかたち)

役割分担

目指す姿を実現するために必要なこと